

2005年10月18日

道内各政党代表者様

要望書への回答のお願い

日頃から障害者福祉の向上にご尽力を頂いていることに厚くお礼申し上げます。

私たちは、さきの衆議院選挙では、道内各候補者に「障害者自立支援法案」に関する公開質問をさせていただいたところですが、去る10月14日に参議院で先議された障害者自立支援法案は、多くの障害者の不安の声の中、23項目に及ぶ付帯決議をつけて採択されました。

今後は、衆議院での議論に舞台を移し報道等の情報によると今月中に採択されてしまうようです。

私たちは、この法律の制定が、本当に障害者が地域で自立した生活を実現することを保障し支援する内容であるかどうか、大きな疑問と不安を持っています。

そうした障害者の不安の声に参議院が答えようとしたものが、参議院の23項目の付帯決議に現れているものと思います。

つきましては、添付のとおり今回の参議院採決に対する全国の仲間の声を代表した抗議声明を添付するとともに、以下の項目に対する貴党の見解と党本部への意見反映についてのご回答をお願いいたします。

「聖域無き構造改革」により失われようとしている障害者の「生存権」と「生活権」を守ること。障害があっても障害のない人々と同様に生活できるノーマライゼーション社会の実現こそが、私たち障害者、障害者の家族、そして障害者とともに生きている人々の心からの願いです。

政治が、障害者の「夢」と「希望」と「生きる糧」を奪うことがないように心からの願いを込めて、この要望書を提出いたしますので、ご多忙中誠に恐縮ですが、10月25日（火）までにご回答をお願い申し上げます。

なお、頂いたご回答は、DPI北海道のホームページへの掲載及びメーリングリストへの配信等を通して広く周知する予定です。

ご多忙中誠に恐縮ですが、ご返答と党本部への意見反映を重ねて、お願い申し上げます。

障害者自立支援法案に地域の声を届けよう北海道実行委員会

実行委員長 坂内 洋士

<事務局>

- DPI（障害者インターナショナル）北海道ブロック会議

住 所： 〒060-0004

札幌市中央区北4条西12丁目1-55 ほくろうビル5F

TEL011-219-5687 FAX011-219-5688

e-mail: info_hokkaido@dpi-japan.org

- きょうされん北海道支部

住 所： 〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

TEL011-736-1699 FAX011-736-1698

e-mail: sien-kai@atlas.plala.or.jp

* ご回答は、DPI北海道ブロック会議へFAXまたは郵送にてお願い申し上げます。